「心に残る文化財子ども塾」指導案

日　時：令和8年7月1日（水）9：40～11：45
場　所：島根県立清心養護学校 小学部4名
対　象：松江清心養護学校 特別教室18R
指導者：松江清心養護学校教諭
　　埋蔵文化財調査センター

1 主題　古代のひとの生活を体験しよう　火起こし体験&古代食作り

2 ねらい

・古代の人のくらしやそのころの学校周辺の様子を学習することをとおして、今のくらしとの違いに気づいたり、歴史学習への関心を高めたりする。
・火起こし、古代食づくりの体験活動をとおして、古代のくらしへの理解を深める。

3 指導計画

①6/24（水）社会・生活科
＊風土記の丘に行こう…展示見学・古代住居見学・古代の衣服着用体験等
②6/10（水）23（火）図工
＊縄文土器や埴輪を作ろう
③6/30（火）社会・生活科
＊島根県埋蔵文化財調査センター『心に残る文化財子ども塾』事前学習
…目標・日程・活動内容概要・講師紹介等
※④7/1（水）本時 社会・生活科
＊心に残る文化財子ども塾 …古代のひとの生活を体験しよう　火起こし体験&古代食作り

4 参加児童・引率教職員及び介助計画（合計 10 名）

児童学年	移動手段等	教職員氏名
小学部6年	車椅子	
小学部5年	徒歩	
小学部4年	車椅子	
小学部3年	車椅子	
児童4名		教職員6名

※6 年児童：当該学年の学習 ※3～5 年児童：特別支援学校の教科等の学習

5 展開　※赤米は一日前から研いで水につけておく。児童代表 6 校時後半

時間	学習活動	教師の支援	準備物
9:20	※講師来校 道具等18R へ運搬		キャスター
9:25	※児童一筆記用具をもって18R へ移動。 ※朝の会が終わり次第移動する。	・児童カットテーブルは、朝の支度等が終わったら18R へ運ぶ。	児童机、 いす
9:40	1.講師紹介、自己紹介 2.オリエンテーション ・学習の流れを知る。	・講師を紹介したのち、児童が自己紹介をする。 ・学習の流れを説明する。	大型 TV 予定表
9:55	3.縄文・弥生時代の人のくらしと学校周辺の古代の様子 ・文化財埋蔵センターの紹介 ・昔の道具クイズ“何するもの?” ・遺跡紹介、触れてみる	・埋蔵文化財調査センター職員さんのお話を聞く。 ・クイズでは実態に応じて適宜声かけをし、自分から答えようとする意欲を引き出す。	教材、遺物等
10:30	＊各自 保冷対策をしてテラスに出る（休憩）。		
10:45	4.古代食作りに挑戦する。 ・赤米を炊く。	・埋蔵文化財調査センター職員さんのお話を聞く。	カセットコンロ
10:50	5.火起こしに挑戦する。 【火打石・火起こし道具】 ・火起こし道具を講師さんの指導を受けて順番にする。 ・後半は職員さんの火起こしを見る。	・炊ける前のお米を見る。 ・コンロにかけたら火起こし体験に移動する。 ・児童二人一組にし、教員 2 名、埋蔵センター講師さん 1 名がぞれぞれのグループで支援をする。グループ・活動場所は事前学習で知らせておく。	火起こし道具
11:10	・起こした火はサンサン広場方面へのスロープのかまどに移す。 ・炊飯途中の赤米をかまどに移す。		かまど用ブロック
11:20	6・試食準備	・分からない場合や上手くいかない場合は、支援する。 ・担任及び埋蔵文化財調査センター職員さんの話を聞く。	
11:35	7.試食	・手洗い、消毒等を行い衛生面に留意する。	

	8.振り返りをする。 ・感想を発表する。 9.まとめ 講師より一言 11:50 10.あいさつ	・言葉で伝えにくい児童は活動の様子を映し出して選択できるようにする。 ・児童代表がお礼のあいさつをする。	

6 準備物

＊学 校:タブレット PC、大型 TV、カメラ(iPad)感想表情カード、ホワイトボード、消毒セット、台ふき2、手作り土器、サランラップ、児童各自給食セット、水筒、ブロック4,座机2、児童用各自机・椅子、パイプ椅子6、作業机(中より借用)軍手、バケツ、火ばさみ

＊埋蔵文化財調査センター:遺物、古代食の材料・土器、火起こしセット、アンケート用紙、皮手袋、軍手、周辺遺跡マップ

7

